

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.234)

1. 地域協議会を開催しました

9月5日(火)に、豊田事業所周辺の7自治区の区長様や豊田市廃棄物対策課長、環境保全課長にご出席いただき、令和5年度JESCO豊田地域協議会を開催しました。

JESCOからは、PCB廃棄物処理の最終年度を迎え、ほぼ100%まで処理が進んでいること、施設の解体撤去の進め方とその安全対策などを説明しました。

市からは、PCB廃棄物処理が期限までに確実に終わられるよう、国が契約・搬入・処理のスケジュールを示し、各自治体へその対応を要請していることを説明されました。



処理施設見学後に行われた質疑応答では、解体撤去工事業者の選定や跡地利用についてなどのご質問があり、化学プラントの技術と経験、知識を持っている確実な業者を選定していること、更地にして土壌等の安全を確認して地主にお返しすることなどをお答えしました。

(左は奥の設備状況を見学窓からご確認頂いている様子)

2. 令和6年3月末までにPCB廃棄物の処理は終了します

豊田事業エリア(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)の変圧器・コンデンサーなどのPCB廃棄物は、現在、豊田PCB処理事業所で事業終了準備期間を活用して処理を行っていますが、令和6年3月末までに処理を終了します。

新たにPCB廃棄物が発見された場合の対応としては、本年11月15日までに機器の登録を完了し、12月28日までに弊社と処理委託契約を締結し、来年1月31日までに当施設に搬入する必要があります。

このため、新たに発見された場合やその可能性がある場合は、豊田PCB処理事業所まで至急ご連絡ください。

詳細はJESCOホームページ/お知らせ/全体新着一覧へ/2023年7月12日付文書をご参照ください。



(受入検査室でのコンデンサー受入の様子)

3. 総合防災訓練実施について



8月31日(木)に、JESCOと運転会社、解体撤去工事の元請業者や下請業者も含め約70人が参加して、総合防災訓練を実施しました。訓練では、119番通報、初期消火、設備の緊急停止及び避難が完了するまでの役割や手順について確認しました。続いて、消防署の指導で水消火器による消火訓練を全員で行い、最後に屋外消火栓放水訓練を実施しました。消防署からは、「避難時間の短縮など前回より改善がみられる。」との講評を頂きました。

4. 弊社作業安全衛生部会の東主査が解体撤去工事現場を視察

9月15日(金)にPCB廃棄物処理事業安全衛生部会の東主査(部会座長、(社)西日本衛生会特別顧問)が、コンデンサー自動解体ライン解体撤去工事の安全確保状況を視察されました。

作業は防護服や防護マスクを着用するなどPCBばく露を防止しながら実施していますが、東主査からは、JESCOと工事業者による安全対策の発展・継続に尽力していくようコメントをいただきました。



(中央が説明を受ける東主査)

5. 安全セミナーを開催しました



毎月、運転会社と合同で実施している安全セミナーを、8月は社外講師を招いて「ヒューマンエラーの防止」をテーマに開催しました。ヒューマンエラーが原因のヒヤリハットの事例から、事故を防止するための対策や安全を確保するための工夫などの説明を受けました。解体撤去作業の本格化も念頭に、受講者全員が安全に対する理解を深めました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

